



自然豊かな《すその市》「SDGs未来都市」を目標に里山会公文名ファイブは活動を進めています。

令和3年2月度の活動



2/21リバーフレンドシップ
 泉川(鹿島神社脇)
 冷たい川のごみ拾い
 毎年度夏・冬と2回実施している。川のごみは大幅に減少してきています。
 ごみ拾いの後は、川の働きについて学習を行う。



2/2裾野市民文化センター
 工芸室にて輪切りクラフト・竹細工づくり。
 今日は、一人ずつ自分で、作りたいものを取り組んでもらった。もの作りは、こどもたちに考える力をつけてもらいたいと考えています。



2/24 スミヤケール(簡易炭焼き窯)にて炭焼きに挑戦、間伐材(スギ・ケヤキ)を長さ30~40センチに切って、3つ割りにして、炭材として炭竈に入れて、8時間ほどかけて行いましたが、使える炭にはならず、失敗です。
 この後、再度挑戦しましたが、一般的な炭には、できていませんが、もう、1~2回挑戦して、使える炭づくりを目指しています。



2/1多目的広場の上
 孟宗竹を粉碎機によるチップ化。この破砕機は、東部農林事務所からの助成金を活用してのリース機です。
 破砕したチップはたい肥化して、植樹を行った苗木に施します。(この広場は、土の栄養分が、少なく、今までの植樹した苗木は活着がよくありませんので、栄養分の補給として使用し)

箱根外輪山三国山西麓里地里山は市民の自然財産です

里山保全活動 令和3年3月度予定

☺☺さとやまレンジャー《☺☺親子体験学習》

- ☺日時 21日(日)☺活動時間 10:00~15:00 (9:45集合)
 - ☺集合場所 多目的広場☺対象 さとやまレンジャー・会員・一般
 - ☺活動場所 多目的広場☺活動内容 ナメコ植菌・輪切りクラフト竹細工
 - ☺参加費 無料☺服装 普段着☺持物 弁当・タオル・飲料水・手袋・筆記具・ノート・マスク
- ※雨天中止

里地里山は次世代へ継承すべき自然財産です

SDGs=「持続可能な開発目標」=「人間が地球ですっと暮らしていけるような世界をつくるための目標」

SDGsはなぜ、いつ決まったの？

なぜこのような目標が決められたのでしょうか。

世界には、貧困や紛争・テロ、温暖化・気候変動、資源の枯渇など、解決しなければならないさまざまな問題があります。

「このままではいつしか人間が地球に住めなくなってしまうかもしれない。」

そのような危機感を持った世界のリーダーたちが集まって、世界が抱えている課題を整理し、解決策を考えました。それがSDGsです。SDGsは、2015年の国連サミットで決められました。

「SDGs=森林資源の保全」

箱根外輪山三国山西麓里地里山の自然豊かな地域を次世代へ継承すべき市民の財産として、NPO法人里山会公文名ファイブは、里山保全活動(混合林の森づくり)を行なっています。小さな団体の活動では限界があります。市民一人一人が活動に参加して戴いて、将来に残すべき自然財産であることに力を貸して戴きたいと思えます。

森づくり循環 100年の計



目指す野鳥・昆虫が寄ってくる混合林の森づくり

☺☺昆虫・野鳥が集まる「仙郷の森づくり」参加者募集☺☺

- ☺日時 毎週木曜日
 - ☺活動時間 10:00~14:00
 - ☺集合場所:仙郷の森(多目的広場)
 - ☺対象:森づくりをやりたい方
 - ☺活動場所 仙郷の森(多目的広場)
 - ☺活動内容 雑木・竹伐採片付け
 - ☺参加費 無料
 - ☺服装 作業できる服装 ※道具はお貸しします。
 - ☺持物 手袋・帽子・飲料水・弁当
- ※木曜日以外に参加希望の方は須藤まで連絡をお願いします。
090-2689-6913

